

【戦争・平和】

	No./タイトル	内 容	時間	出演等	製作年
	1201126 爆心地 ～ヒロシマの記録～	原爆投下直前の町並み、家屋、普段通りの市民生活。これまで語られることのなかった爆心地における原爆被害の実態を、被爆生存者の証言集をもとに、ハイテク映像3D CGと復元実写で再現されている。	(分) 64	—	2007
	1201127 ヒロシマからの伝言 原爆で失ったもの	平和記念公園。そこは中島と呼ばれ、広島有数の繁華街であった。そこへ何の前触れもなく人類史上初めての原子爆弾が投下された。失った往時の街並みと人々の暮らしをCGで再現している。	61	—	2010
	1201128 知られざるヒロシマの真実と原爆の実態	自らも被爆者である作者が、数多くの被爆者たちの証言をもとに、爆心地周辺の実態を再現した記録映画。	62	—	2015
	1201069 EFFECTS OF THE ATOMIC BOMB 広島・長崎における原子爆弾の影響	1946年に完成しながらもアメリカによって接収され、内容が機密に触れるという理由からアメリカ国内での公開もされることなく空軍基地に保管されていた「まぼろしの原爆映画」。	164	—	2009
	1200724 ヒロシマナガサキ ～白い光、黒い雨、あの夏の記憶	スティーヴン・オカザキ監督が、14人の被爆者と4人の原爆投下に関与したアメリカ人の証言を軸に、25年の歳月をかけて完成させた渾身のドキュメンタリー映画。	112	—	2007
	1200718 あの日 —この校舎で 50年前に被爆した ナガサキの記憶	被爆直後の長崎で救護所に当てられていた小学校で、直接に被爆者たちを看護した医療従事者たちが、目撃した人体被爆の生々しい状況を具体的に証言する。	30	—	1996
	1200720 ヒロシマの記憶 幻の原爆フィルムで 歩く広島	1945年、原爆が投下されて2ヵ月。焦土の風景と苦しむ被爆者は日本人の手によって撮影された。当時の撮影したフィルムには	35	—	2005
	1200721 長崎の記憶 幻の原爆フィルムで 歩く長崎	治療を受ける人々や医師と看護師、焼き尽くされた建物、ガレキに埋まる人々が映し出されている。	37	—	2006
	1200509 絵日記による学童疎開600日の記録 ～お茶の水学童集団疎開の記録～	集団疎開の出発から解散するまでの期間を子どもたちが毎日書いていた絵日記をもとに作成されたものである。一見穏やかな日々を過ごしているよう描かれた日記の裏に、子どもたちの本音が隠されている。	28	—	2008
	1201173 Paper Cranes Story ～ケンタとマイコ～	一羽一羽思いをこめて折られる千羽鶴。折り紙に、もし命があるとしたら。ケンタとマイコの冒険が今始まる。広島国際アニメーションフェスティバル2014「平和のためのアニメーション」部門公式上映作品。	27	アニメーション	2013

	No./タイトル	内 容	時間	出演等	製作年
	1200200 火垂るの墓	昭和20年6月からの日本の敗戦をはさんだ約3か月に14歳の清太と4歳の節子というふたりの兄妹はどう生きたかを描いた。	(分) 88	アニメーション	1998
	1200251 あした元気に な〜れ!	主人公かよこ(12歳)が昭和20年3月10日の東京大空襲で家族6人を失い、生き残ったたった独りの兄と共に戦後の混乱の中を力強く生き抜いていく兄妹愛の実話。	90	アニメーション	2005
	1200585 さとうきび畑	こころにざわわ… 聞こえますか。今、あらためて、平和への祈りを忘れないで下さい。多くの人々の祈りを平和への実りにするために。 (作詞・作曲寺島尚彦 唄: 森山良子)	11	アニメーション	2011
	1201293 ガラスのうさぎ	12歳の少女が東京大空襲の経験を通して、戦争の本当の悲惨さや恐ろしさを体験し、終戦の混乱と厳しい生活を生き抜きながら、平和への願いを渴望する感動の作品。原作は、出版以来ロングセラーを続け読み継がれている名作。	83	アニメーション	2005

【郷土・記録映像】

No.	タイトル	内 容	時間
1200410 1200411	日立のふるさと再発見シリーズNo.1 土に埋もれた文化財 ～縄文人の生活をたずねて～	市内の遺跡から発掘された出土品をもとに、日立の古代の歴史や文化財に対する関心を深める。	(分) 61
1200412 1200413	日立のふるさと再発見シリーズNo.2 かやぶき屋根の四季 ～のら仕事を追って～	あるかやぶきの家をモデルに農家の年中行事と米作りの一年をふるさとのイメージとしてとらえる。 日立市視聴覚教育推進委員会社会教育班制作。	21
1200414 1200415	日立のふるさと再発見シリーズNo.3 信仰の山 かびれ	入四間町かびれの峰は古来から神の住む山として伝えられてきた。山岳信仰の姿を史跡や行事で紹介。 日立市視聴覚教育推進委員会社会教育班制作。	15
1200416 1200417	日立のふるさと再発見シリーズNo.4 水木のいまむかし	水木地区の昔から伝えられてきた「当屋祭」の記録を中心に水木地区の歴史、産業、観光等を紹介。 日立市視聴覚教育推進委員会社会教育班制作。	20
1200418 1200419	日立のふるさと再発見シリーズNo.5 川尻のいまむかし	川尻地区の歴史、産業、観光、自然等を海に関する行事や酒造の工程を中心に紹介する。 日立市視聴覚教育推進委員会社会教育班制作。	21
1200420 1200421	日立のふるさと再発見シリーズNo.6 ふるさと諏訪	諏訪には古い歴史があり、自然環境も豊かで、文化財も豊富にある。それらを可能なかぎり映像化。 日立市視聴覚教育推進委員会社会教育班制作。	24
1200422 1200423	日立のふるさと再発見シリーズNo.7 日立地方の講中	玉簾寺(平山地区)を中心に、南高野、小木津浜、銀座通り商店街で行われている講中を紹介。 日立市視聴覚教育推進委員会社会教育班制作。	20
1200424 1200425	日立のふるさと再発見シリーズNo.8 成沢のいまむかし	地域を縦断して流れる鮎川に沿って、成沢地区の今と昔を対比しながら、歴史や文化を紹介する。 日立市視聴覚教育推進委員会社会教育班制作。	15
1200426 1200427	日立のふるさと再発見シリーズNo.9 大久保のいまむかし	大久保鹿島神社を中心に、大久保地区の今と昔を対比しながら、歴史や文化を紹介する。 日立市視聴覚教育推進委員会社会教育班制作。	22

No.	タイトル	内 容	時間
1200428 1200429	日立のふるさと再発見シリーズNo.10 久慈浜今昔	久慈浜地区を題材に、伝説にまつわる「おどろ」の神事の記録や日立港一帯の今昔の対比を描いた作品。日立市視聴覚教育推進委員会社会教育班制作。	(分) 21
1200431 1201197	日立のふるさと再発見シリーズNo.11 共楽館界限	共楽館の歴史と現在、そして日立市とのかかわりを表現した作品。 日立市視聴覚教育推進委員会社会教育班制作。	20
1200398 1200399	日立のふるさと再発見シリーズNo.12 日立駅前物語	日立駅前の新旧の対比にとどまらず様々なエピソードをたくさん盛り込んだ作品。 日立市視聴覚教育推進委員会教材制作社会教育部制作。	19
1200432 1200433	日立のふるさと再発見シリーズNo.13 視聴覚センターが撮った 日立市の20年	昭和56年から平成12年までに視聴覚センターが記録してきた映像で日立市の移り変わりを振り返る。	43
1200400 1200401	日立のふるさと再発見シリーズNo.14 河原子のいまむかし	河原子地区を題材にその歴史や文化を紹介し、今と昔を対比する。 日立市視聴覚教育推進委員会教材制作部制作。	18
1200122 1200123	日立のふるさと再発見シリーズNo.15 日立風流物の昔と今	国指定重要有形・無形民俗文化財「日立風流物」にスポットをあて、その昔と今を紹介する。 日立市視聴覚教育推進委員会教材制作部制作。	23
1200220 1200221	日立のふるさと再発見シリーズNo.16 ふるさと十王	日立市と十王町の合併に伴い、広く十王地区を紹介する作品。十王地区の自然・歴史・民俗等を網羅し、四季を通じて美しい風景が盛り込まれている。 日立市視聴覚教育推進委員会教材制作部作品。	21
1200242 1200243	日立のふるさと再発見シリーズNo.17 日立二十四景	地域資源の再発見や郷土愛の醸成を目的に、日立市が特にすぐれた景観(自然景観・名所旧跡・産業資産・都市景観)として選定した「日立二十四景」	30
1200404 1200405	日立のふるさと再発見シリーズNo.18 会瀬のいまむかし	歴史、民俗、産業、自然景観などをテーマに、豊かな自然に囲まれた貴重な文化遺産が残る会瀬地区を紹介する。	21
1200539 1200540 1200541	日立のふるさと再発見シリーズNo.19 日立の文化財めぐり 第一部 北部	日立市北部の歴史、民俗、美術、自然等の貴重な文化財を紹介する作品で、ふるさとの歴史や文化を知る手がかりとなっている。	21
1200751 1200752	日立のふるさと再発見シリーズ 日立の文化財めぐり	1. 第1部 北部編 十王台遺跡出土十王台式土器愛宕原火葬墓出土骨蔵器ほか 2. 第2部 中部編 日立風流物、日立のささら、桜塚、旧久原本部、旧共楽館ほか 3. 第3部 南部編 木造釈迦如来像(宝塔寺)、諏訪梅林、諏訪のヤマザクラ、南高野貝塚ほか	58
1200196 1200197	さよなら日立電鉄線	日立市と常陸太田市を結ぶ日立電鉄線(鮎川ー常北太田駅 18.1 km)が2005年3月末で77年の歴史に幕を下ろした。「地域住民の足として惜しまれつつ廃止となった、最後の日立電鉄線」を日立電鉄の協力を得て記録した。	43
1200124	ウミウのふるさと日立市	鵜飼文化を支えるウミウ捕獲 1300年の歴史を誇る「鵜飼」を支える日立市にある「ワザ」。このウミウ捕獲から生まれた各地との交流やイベントを大切にしたい。	14
1200132	ズームアップひたち ～空からみた 平成15年の日立市～	平成4年度の空撮を交えながら、ヘリコプターの映像を中心に比較しながら日立市を見る	19
1200406 1200407	わがまち日立シリーズNo.19 日立の自然	「植物及び自然」にスポットを当て、特徴的な土地の様子や植生、気候を題材とした作品	19

No.	タイトル	内 容	時間
1200542	よみがえる昭和初期の久慈浜	昭和初期の日立市久慈町の街の様子、人々の暮らしがうかがえる映像。市民から寄贈された35ミリフィルムを視聴覚センターでデジタル化。	(分) 9
1200435 1200436	十王物語	このDVDは、十王町閉町記念として、十王町誕生から今日までの暮らしの様子を映像と音声にまとめた作品。なお、映像の背景に流れる音楽は、十王町立十王中学校の生徒による演奏と合唱である。	23
1200048	大煙突への旅 新日鉱グループ創業100周年記念事業	新日鉱グループは1905(明治38)年12月に、久原房之助が多賀郡日立村の赤沢銅山を買収し、日立鉱山として開業して以来、創業100周年を迎えます。	19
1200130	大煙突讃歌ー記録映像ー	日立鉱山のシンボルでもある大煙突にスポットをあて、1985年から1993年までの姿を描いた作品。	54
1200958	日立のまち案内人が行く PART1	1. 赤羽横穴墓 2. 南高野貝塚 3. 西の妻古墳 4. 甕の原古墳 5. 滑川浜古墳 6. 上の代遺跡 7. 十王前横穴 8. 日立のさくら 9. 田楽原児童公園 10. 古房地公園 11. 河原子海岸 12. 鮎川浜	73
1200968	日立のまち案内人が行く PART2	13. 鶉の島 14. 小木津山自然公園 15. 小貝浜 16. 泉が森 17. 諏訪梅林 18. 十王パノラマ公園 19. 日立おさかなセンター 20. 日立武道館 21. ウミウ捕獲場	79
1200970	日立のまち案内人が行く PART3	22. イブキ樹叢 23. 堅破山 24. 大窪城・暇修館 25. 山尾城 26. 相賀の館 27. 岩城相馬海道北部 28. 岩城相馬海道南部 29. 岩城相馬海道南部 30. 神峰神社大祭礼	95
1200972	日立のまち案内人が行く PART4	31. 助川海防城跡 32. 七つの海防施設 33. 流鏑馬・駒つなぎのイチョウ 34. 諏訪神社 35. 八幡太郎義家伝説 36. 串形古館・カタビラ小屋 37. 大橋城跡 38. 日立のささら	108
1200046 1200047	日立の産業生誕100年 ひたち 工業都市の発展とともに	平成17年は、工都日立市発展のスタートとなった日立鉱山の創業100周年にあたります。 本作品は、この歴史的な節目に、本市の歩みを振り返り、先人の築いてきた貴重な歴史をまとめたもの。	20
1200226 1200227	日立市立高原小学校 最後の1年 133年間ありがとう 高原小学校・閉校	1 沿革及び学校生活ほか 2 運動会・鳥追祭ほか 3 卒業式・閉校式	90
1200207 1200402	日立市立高原小学校閉校記念	第1章: 高原小の沿革「133年のあゆみ」 第2章: 学校生活の様子 第3章: 奉仕作業 第4章: 宿泊学習 第5章: 高原夏祭り 第6章: 秋季大運動会	100
1200645 1200646	八角神輿 輝き再生	八角神輿が出来てから130年が経過し、大改修することとなった。その1年間の記録である。	29
1200680	日立市川尻町の災害	平成23年3月11日の東日本大震災時の日立市川尻町の災害の様子を津波の第2波とその後の様子を記録した映像 撮影・編集 清水啓志(川尻町)	17
1200982 ～ 1200986	東日本大震災映像記録 「3.11からの出発」	・東日本大震災直後の日立市(川尻、会瀬、河原子、水木町) ・東日本大震災、茨城の記録 ・あれから2年 東日本大震災2013 鶉の島温泉旅館の2年	60

長野県生まれの作詞家・高野辰之（1876—1947）は幼少期に遊んだ山野を思い出しながら、**文部省唱歌『故郷（ふるさと）』（大正3年）**に「兎追いしかの山 小鮒釣りしかの川 夢は今もめぐりて 忘れ難きふるさと」と詠っています。足元に広がる山川はふるさとそのものです。

ふるさと日立は、西は阿武隈山系が連なり、東は起伏に富んだ太平洋の海岸線を臨み、穏やかな気候と豊かな自然環境に恵まれています。

寒村であった本市は、明治38年（1905）久原房之助が日立鉱山を創業することにより大きく発展し、日立製作所とともに、鉱工業都市として成長を遂げてきました。

しかしながら、人口減少と少子高齢化現象は、本市においても避けることのできない今日的な課題です。

日立市は、「**もっと日立が好きになる**」をキャッチコピーに、現在各地区のコミュニティと連携し約20のウォークコースを設け、ふるさとの魅力を再発見する事業を展開しています。

当センターは、すでに40年ほど前から委員会を組織し、変わりゆく郷土の姿を映像に記録し編集してきました。その数約50点。日立市を象徴する156mの大煙突、高原小学校をはじめ、すでに消え去ってしまった姿を映像文化として遺しています。今回、特に「**ふるさと再発見シリーズ**」の中からオススメ作品をご紹介します。

	①	②	③	④	⑤
	日立二十四景	日立の文化財めぐり	大久保のいまむかし	会瀬のいまむかし	共楽館界隈
タイトル					
制作年	2007年	2012年	1997年	2008年	1999年
時間	30分	58分	22分	21分	20分
オススメポイント	美しい自然や歴史遺産、産業の姿をハイビジョンカメラで撮影。日立市内で魅力度の高い場所を24選にまとめた見応えのある観光ダイジェスト版作品。	歴史・民俗・美術・自然等の日立の貴重な文化財を、北・中・南の3部構成で分かりやすく紹介する、日立の歴史や文化を知る手がかりとなる作品。	大久保鹿島神社の秋季祭礼・鎗流馬神事の裏側を丹念に取材。さらには古い写真を活用し比較することで、地域の今昔を学べる見応えのある作品。	歴史と自然に生まれ、郷土を愛する人々の姿をハイビジョンカメラ撮影。今も昔も世代間の結びつきを大切に海と共に生きる姿を丹念にまとめた作品。	日立鉱山の福利厚生・文化施設として歩んだ共楽館の歴史を振り返りつつ、市民の支援により平成11年国登録文化財指定に至る活動を紹介する作品。